

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業・マーケティング		単位数	2 単位	履修年次	2 年
目 標	・現代の多様なビジネスにおいて、必要なものを欲しい人に届けることが出来る知識を身に付ける。 ・マーケティングの動向・課題を捉え、多面的・多角的に分析し考察する能力と態度を養う。					
使 用 教 材	【教科書】マーケティング（実教出版） その他に、問題集、プリント等					
評価の観点・評価規準	知識・技能 企業から消費者に届くまでに 関する基礎的・基本的な知識を 身につけ、マーケティングの基 本的な仕組みについて理解して いる。	思考・判断・表現 消費者のニーズについて自ら 思考を深め、基礎的・基本的な知 識と技術を活用して適切に判断 し、創意工夫する能力を身に付 けている。	主体的に学習に取り組む態度 企業が消費者に購入してもら うために、どのような工夫をし ているか関心を持ち、その知識 と技術の習得を目指して意欲的 に取り組むとともに、ビジネス において実践できる能力を養 う。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査、小テスト等を総合的に判断し評価する。					
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1 学期	・現代市場とマーケティング 市場環境の変化 マーケティングの発展 マーケティングの流れ 消費者行動 ・市場調査 市場調査の目的と方法 情報分析		・マーケティングの歴史・発展について理解し、 現代市場に適応・分析方法について能力を養う。 ・消費者が購入意思決定をするまでの基本的な 知識を理解する。 ・市場調査について理解し、STP を的確に活用で きる能力を養う。			
2 学期	・製品政策 製品政策の概要 製品企画と生産計画 販売計画と販売予測 製品政策と動向 ・価格政策 価格政策の概要 価格の種類と決定の方法 価格政策と動向		・製品政策について理解し、商品開発に活用でき る能力を養う。 ・価格政策について、様々な形態があることを理 解する。 ・現代の決済方法の展開について理解する。			
3 学期	・チャネル政策 チャネル政策の概要 チャネルの種類と特徴 チャネル政策と動向 ・プロモーション政策 プロモーション政策の概要 プロモーションの方法 プロモーション政策の動向		・チャネルについて理解し、消費者に届くまでの 流通経路を考える能力を養う。 ・現代のチャネル政策の動向について活用でき る態度を身に付ける。 ・プロモーションについて理解し、商品に対して 適切な表現ができる能力を養う。			
学 習 上 の 留 意 点	・説明をよく聞き、授業に集中し、わからないことは積極的に質問をして理解するように心がけて ください。 ・商業の基礎知識学習としてビジネス計算を行います。電卓を 使用します、忘れずに持参して ください。 ・欠席や遅刻をしないように心がけてください。 ・一つ一つの課題を期限厳守で提出してください。					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】商業（経営科）・情報処理		単位数	4 単位	履修年次	2 年
目 標	・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。 ・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。 ・表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。					
使用教材	【教科書】 最新情報処理新訂版(実教出版) 【副教材】 情報処理検定問題集					
評価の観点・評価規準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけている。 ビジネスの基礎知識ならびにコンピュータのハードウェア、ソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの活用に関する基礎的な知識を身につけている。	情報をビジネスに活用するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、情報を活用しやすい形に加工する工夫を行うとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。	ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。 ビジネス情報の収集、整理・加工、伝達に情報技術を活用するための知識・技術を積極的に身につけようとしている。			
評価方法	目標を踏まえ、情報処理に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査、実技テスト、小テスト等を総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	1 章 情報の活用と情報モラル			・ビジネスの諸活動における情報の役割とコンピュータを利用した情報活用の重要性を学習する。 ・情報化社会に参画するために個人が身につけるべき情報モラルや、セキュリティ管理の方法について学習する。		
2 学期	2 章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理			・情報通信ネットワークの概要と、ビジネスにおけるインターネットの様々な利用方法やその効果について学習する。 ・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作を習得する。関数を用いた技法、グラフ作成の基礎知識を学習する。		
3 学期	3 章 ビジネス情報の処理と分析			・表計算ソフトウェアを利用して帳票や報告書などのビジネス書類を作成するための技法を学習する。 ・データベースの特徴とこれをビジネスに活用することの意義を理解する。		
学 習 上 の 留 意 点	・説明をよく聞き、授業に集中し、わからないことは積極的に質問をして理解するように心がけてください。 ・許可なくパソコン等の機器に触らないでください。 ・欠席や遅刻をしないように心がけてください。 ・情報処理検定にも対応できるように検定前には検定対策の学習もします。					

三重県立伊賀白鳳高等学校

三重県立伊賀白鳳高等学校

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】商業・ネットワーク活用		単位数	3 単位	履修年次	3 年
目 標	・商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、インターネットの活用や地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。					
使 用 教 材	【教科書】ネットワーク活用（実教出版）					
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
評 価 方 法	目標をふまえ、「主体的に学習に取り組む態度」は、日々の授業への取り組みを中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査や基礎力診断テストを中心に、提出物の状況や小テストへの取り組み等、授業に取り組む姿勢や態度も含め、総合的に評価する。					

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 章 情報通信技術の進歩とビジネス 1 節 ICT により創造される新しいビジネス 2 節 個人情報と知的財産の保護 3 節 関連法規とガイドライン	情報通信技術の進歩に伴いビジネスの形態や組織内におけるビジネスの進め方が変化していることを学び、情報通信ネットワークをビジネスに活用することの重要性を理解する。 インターネットを活用したビジネスを展開する際に留意すべき個人情報や知的財産の保護の概要を学び、その重要性を理解する。 インターネットを活用したビジネスに関する法規やガイドラインの概要を学び、その必要性を理解する。
	2 章 情報コンテンツの制作 1 節 図形と静止画	図形と静止画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解するとともに、それらを作成・編集するための基本的な技術を身につける。
	2 節 音声と動画	音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解するとともに、それらを作成・編集するための基本的な技術を身につける。
	3 章 企業情報の発信と Web デザイン 1 節 Web ページの制作とデザイン	Web ページの制作とデザインについて理解するとともに、一般的な Web ページ制作手順を理解する。 Web ページ制作について必要な基本的な知識と技術を身に付ける。
2 学期	3 章 企業情報の発信と Web デザイン 2 節 Web ページ制作の基礎	タグの直接入力による基本的な Web ページ制作のための知識と技術を身に付ける。 CSS と JavaScript を用いて、目的に応じた適切な Web ページを制作する知識と技術を身に付ける。
	3 節 Web ページ制作の応用	CMS を利用する意義や利点を理解するとともに適切に用いて、Web サイト構築をする技術を身に付ける。 CMS を用いて、目的に応じた適切な Web サイトを作成する知識と技術を身に付ける。
	4 章 インターネットと情報セキュリティ 1 節 インターネットのしくみ	インターネットの仕組み、ビジネスにおいてインターネットを活用する利点及びインターネットサービスプロバイダの役割と業務について理解する。

	2 節 ハードウェアとソフトウェアの導入	ビジネスにおいてインターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアの種類と機能及びコンピュータをインターネットに接続する手続と方法について理解する。
	3 節 情報セキュリティの確保	ビジネスにおいてインターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について、企業における具体的な事例と関連付けて理解する。
3 学期	5 章 電子商取引とビジネス	電子商取引の意義や役割について理解する。
	1 節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済	企業間取引，企業対消費者間の商取引について学習し，情報通信ネットワークを活用したビジネスについて理解する。 代金決済方法について電子的データの交換を行う電子決済のしくみを習得する。
	2 節 電子商取引サイトの開店準備	電子商取引サイト開業に必要な手順を理解させるとともに，店舗運営を行うための基礎的な知識を習得する。
	3 節 Web ページ制作と集客方法	電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解させるとともに，Web ページ作成ソフトウェアやフリーソフトウェアを使って構築する技法を習得する。
	4 節 ビジネスの創造	インターネットを活用したビジネスの動向や展望について理解し，新たなビジネスの創造について進化する AI の活用方法について習得する。
学 習 上 の 留 意 点	・情報社会を生きぬくうえで必要不可欠な情報モラルをしっかりと身に付けましょう。 ・マナーを守ってパソコンの実習を行い、期限内に提出課題を完成させましょう。	

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業 ビジネス・マネジメント		単位数 3 単位	履修年次 3 年
目 標	・ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解する。 ・ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を高める。 ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取組む態度を高める。			
使 用 教 材	「ビジネス・マネジメント」 （実教出版）			
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	企業における事例など実際のマネジメントと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付ける。	唯一絶対の答えがないことが多い経済社会にあって、マネジメントに関する課題を発見することができる。 企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例など科学的な根拠に基づいた工夫ができる。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指してマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して経営資源のマネジメントに取り組むことができる。	
評 価 方 法	「知識・技能」については作成した成果物を、「思考・判断・表現」については、課題に対する日々の授業の様子やレポートを、「主体的に学習に取り組む態度」については発表の様子等を採点し、総合的に判断し評価する。			
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
1 学期	・ ビジネスとマネジメント ・ 組織のマネジメント		・ マネジメント役割とイノベーションの重要性 ・ 創業者や経営者の理念と外部環境の影響 ・ 組織の形態と経営戦略 ・ 企業間連携と事業構造の再構築	
2 学期	・ 経営資源のマネジメント ・ 企業の秩序と責任		・ 経営資源の種類と最適化の重要性 ・ 人的資源のマネジメント ・ 物的資源のマネジメント ・ 財務資源のマネジメント ・ 情報資源のマネジメント	
3 学期	・ ビジネスの創造と展開		・ ビジネスの創造の意義と課題 ・ プロジェクト管理 ・ 起業の意義と手続き	
学 習 上 の 留 意 点	ビジネス・マネジメントは企業の社会的責任や企業倫理を理解する。具体的な事例を用い経済社会の動向やマネジメントに関する理論と関連付けて分析、考察、討論、発表する機会を設ける。			

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業 ・ ビジネス法規	単位数 2 単位	履修年次 3 年
目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
使 用 教 材	【教科書】 ビジネス法規（実教出版） 【その他】 検定問題集、プリント等		
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評 価 方 法	知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学びに向かう姿勢などの観点を基本とする。具体的には日々の授業の取組態度、提出物、考査等をもとに総合的に判断し評価する。		
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
1 学期	法の概要 権利・義務と財産権 権利・義務とその主体 物と物権・債権、知的財産 財産権の変動 契約 物の売買 物の貸借 財産権の変動 不法行為、時効	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。 ・権利・義務の概要、財産権の概要および知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 ・契約全般について、また企業活動における契約について、法規と関連付けて理解する。 ・契約当事者の権利・義務関係について、理解する。 ・契約当事者の不法行為や時効の各関係について、法規と関係付けて理解する。	
2 学期	企業活動と法規 企業活動の主体、株式会社の特徴と機関 資金調達と金融取引、組織再編と清算・再建、競争秩序の確保 企業責任と法規 法令遵守と説明責任、労働者の保護 消費者の保護、情報の保護 紛争の解決と予防 紛争の解決、紛争の予防	・企業活動の主体とその商行為の概要について理解する。 ・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。 ・金融商品取引法の概要・電子記録媒体の概要について理解する。 ・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解する。 ・法令遵守、説明責任、企業統治の意義と重要性について学ぶ。 ・労働者の権利の保護、消費者の保護、情報の保護に係る法規の概要について学び、法規と関連付けて理解する。 ・民事訴訟制度の概要、企業における紛争の予防と解決に関する課題について学ぶ。	
3 学期	税と法規 税の種類と法人の納税義務 法人税の申告と納付、消費税の申告と納付	・税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解する。 ・不動産に対する税の概要と税額決定の考え方及び内国法人と外国法人の納税義務について、法規と関連付けて理解する。 ・法人税の申告と納付の仕組み及び申告書の作成など手続の概要および消費税の申告・納税について、法規と関連付けて理解する。	
学 習 上 の 留 意 点	・商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を身につけることをめざします。 ・法規の基礎的な知識や技術、心構えを身につけ、社会にでるための準備としてこの学習を役立ててください。 ・資格取得をめざす人は、検定もありますのでスキルアップに活用してください。		

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】商業（経営科）・課題研究		単位数 4 単位	履修年次 3 年
目 標	商業に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付ける。 地域の中での自己の役割を考え、必要とされる地域貢献の実践を、職業選択や就業時に活かせるスキルを身に付ける。			
使 用 教 材	【副教材】 問題集・模擬問題集・プリント等			
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	商業に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	商業に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して目標達成のために具体的な計画を考える能力を身につけている。	商業に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、将来の進路に活かすことができる。	
評 価 方 法	定期考査は実施しない。「感心・意欲・態度」については課題に対する日々の授業時の様子を、「思考・判断」「知識・理解は」個々の発表のファイルの完成度を「技能・表現」では発表の様子等を採点し、総合的に判断し評価する。			
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
1 学期	・生徒が各自で商業に関する課題を設定し、それに関わる検定合格を目指し学習内容を設定 する。 ・検定試験はワープロ検定・簿記検定・販売士 検定・情報処理検定などがある。		・主体的に進路決定について真剣に考える。 ・課題を解決するために、どのようにしたら合理的に進むか考える。	
2 学期	・伊賀市について理解し、課題発見 ・伊賀市の活性化について検討・協議 ・アンケート作成 ・アンケート調査 ・アンケート集計		・自分たちの住んでいる地域をより理解する。 ・伊賀市民のニーズを考える。 ・自分たちが地域貢献できることは何かについて意見を出し合う。	
3 学期	・「伊賀市活性化」についてのアンケート結果の振り返り		・伊賀市をより活性化させるために今後どのようにしていかなければならないかをグループで話し合う。	
学 習 上 の 留 意 点	・各検定により、持ち物が異なるので忘れ物がないように注意する。 ・チームとしての意見を言い合える関係作りを行い、自ら考える力を養うことができるよう配慮する。			

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業 総合実践		単位数 3 単位	履修年次 3 年
目 標	・ 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を高める。 ・ ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を高める。 ・ ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を高める。			
使 用 教 材	「ビジネス実践」「事例探究ワークブック ビジネス編」（実教出版）			
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	商業の各分野の学習で身に付けた知識と技術を総合的に関連付け、実際のビジネスの場面に生かすことができる。	唯一絶対の答えがないことが多い経済社会にあつて、ビジネスの実務における課題を発見することができる。 企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、法規制、成功事例など科学的な根拠に基づいた提案ができる。	自ら学ぶ態度、組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して責任をもって取り組むことができる。	
評 価 方 法	「知識・技能」については作成した成果物を、「思考・判断・表現」については、課題に対する日々の授業の様子や学習日誌を、「主体的に学習に取り組む態度」については発表の様子等を採点し、総合的に判断し評価する。			
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
1 学期	・ 総合実践の心得と心構え ・ 日常の勤務（授業姿勢）について ・ 企画書の作成 ・ プレゼンテーションの技術		・ 基本的となるルールとマナーの習得 ・ 企業の歴史と社会的に使命の理解 ・ 研究開発の仕組みの理解 ・ 新商品の企画提案	
2 学期	・ 模擬実践 ・ 試作実験 ・ 新商品の提案		・ 一人一役の仕事を計画的に遂行する能力を養う ・ 研究、開発、企画、販売、広告など各業務の理解 ・ 新商品の試作と中間評価 ・ 新商品の企画提案	
3 学期	・ 振り返り		・ 提案力と処理能力を高める ・ 企画提案書の作成 ・ 年間報告書の作成	
学 習 上 の 留 意 点	総合実践は商業の専門分野の学習の集大成であり、マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報等、各分野の学習内容を総合的に応用できるようにする。			